

# With コロナ時代の大学教育の構築に向けて

－ 遠隔授業に対する学生アンケート結果から －

辻川 典文<sup>1</sup>      間   洙   泰   尚<sup>1</sup>  
酒   井        純<sup>2</sup>      中   植   正   剛<sup>1</sup>

Rebuilding the University Education in the New Normal Post-COVID-19 Era  
－From the results of the student survey on online courses－

Norifumi TSUJIKAWA<sup>1</sup>      Yasutaka MABUCHI<sup>1</sup>  
Jun SAKAI<sup>2</sup>      Masataka NAKAUE<sup>1</sup>

## 要 旨

2020年度のコロナ禍での非同期オンデマンド型のオンライン授業への学生の取り組み方や、学生から見た利点・問題点、また授業実施方法の改善などを目的として、遠隔授業に対する学生へのアンケート調査を実施した。分析の結果、オンライン授業に対してある程度の満足度と授業内容の理解度を得られていること、課題に取り組む時間としては本来の授業時間を満たしているとは言えない一方で、学生にとっては課題の負担がやや大きくなっていることがわかった。また授業の満足度を高める要因として、自分のペースで学習を進められることや自宅で落ち着いて学習できること、復習を何度もできることなどをあげることができた。そして授業方法として、動画教材を用いた授業の展開への期待が大きいとともに、一定のルールや方針に従った一貫した授業デザインが必要なことも分かった。

キーワード：高等教育、オンライン授業、遠隔授業、理解度、満足度、授業デザイン、学生アンケート

## 1. はじめに

2020年のコロナ禍および非常事態宣言を受け、日本全国の多くの大学が対面授業を中止してオンラインでの授業を実施することとなった。本学でも2020年の3月末にオンライン授業の実施が決定され、春学期は本来の授業開始日から3週ほど遅れて開始することとなった。そしてこの期間を学生・教職員含めた授業準備、また遠隔授業への練習期間と定めて、オンライン授業のプラットフォームとして定めたマイクロソフト Teams を用いて、ゼミを除くすべての授業がオンデマンド型（非同期型）で開始された。

このような中で、初めての取り組みである全学的なオンデマンド型の非同期オンライン授業（以下オ

ンライン授業と表記）への学生の取組の状況を、全学的に確認する必要があると考え、春学期終盤である7月にオンライン授業に取り組んだ学生へアンケート調査を行うこととなった。

また、今回の調査結果については、本学が9月4日、11日に行った、テレビ会議システムのZOOM上での、オンライン授業の質の向上を目的とするFDで報告した内容を改変、更新したものである。

## 2. 調査の目的と方法

### 2.1. 調査の概要

オンライン授業への学生の取り組み方や、学生から見た利点・問題点の調査、また授業実施方法の改善などを目的として、神戸親和女子大学の学部生1,688名を対象として春学期の終了直前である2020年7月2日（木）から31日（金）の期間、マイクロソフト Forms を利用してオンラインで調査を行った。調査対象学科としては、文学部総合文化学科、発達教育学部児童教育学科、心理学科、福祉臨床学科（3、4年生のみ）、ジュニアスポーツ教育学科の2学部5学科である（以下本文中では総文、児教、心理、福祉、Jr スと省略して表記）。

### 2.2. 調査内容

調査では、大きく分けて次の内容について訪ねている。

- ・授業へいつ取り組んでいるか、またどのくらいの時間をかけているか
- ・課題の量に対する印象
- ・授業担当者への質問
- ・オンライン授業の印象
- ・学生同士での情報交換
- ・オンライン授業の利点・問題点
- ・同期・非同期遠隔授業への印象
- ・オンライン授業への理解度・満足度
- ・マニュアルの印象

## 3. 結果

すべての学部・学科をまとめた全体での分析については、1年生から4年生までを統合して分析している。また、学科ごとのデータについては1年生と2・3年生を別に分析している。

### 3.1. 回答率

全体での回答率は回答率62.3%であり、下位学年ほど回答率が高い傾向がみられた（約78%→70%→54%→約50%）。

表1 アンケート回答率

	回答者数	学生数	回答率
1年生	322	414	77.8%
2年生	258	368	70.1%
3年生	227	419	54.2%
4年生	244	487	50.1%
計	1,051	1,688	62.3%

### 3.2. 授業の満足度と授業理解度

#### 3.2.1. 授業満足度

オンライン授業の満足度は、1年生（表2）、2・3年生（表3）ともに「3どちらともいえない」との回答が多く、次いで「4やや満足している」が多かった。不満足（1や2）は少ないことから、オンライン授業全体に対しての満足度が低いわけではないといえる。学科による違いも確認された。主なものとして、1年生では、児教で「2あまり満足していない」、心理で「3やや満足している」と答えた割合が全体と比べ高かった。

表2 1年生の授業満足度

学科	オンライン授業の満足度					合計	平均値
	1 全く満足 していない	2 あまり満足 していない	3 どちらとも いえない	4 やや満足 している	5 大変満足 している		
児教	2 (1.2)	△25 (15.1)	73 (44.0)	▼57 (34.3)	9 (5.4)	166 (100)	3.28
総文	△2 (4.8)	3 (7.1)	17 (40.5)	18 (42.9)	2 (4.8)	42 (100)	3.36
心理	0 (0.0)	3 (4.9)	21 (34.4)	△34 (55.7)	3 (4.9)	61 (100)	3.61
Jrス	0 (0.0)	3 (5.9)	△29 (56.9)	18 (35.3)	1 (2.0)	51 (100)	3.33
全体	4 (1.3)	34 (10.6)	140 (43.8)	127 (39.7)	15 (4.7)	320 (100)	3.36

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

表3 2・3年生の授業満足度

学科	オンライン授業の満足度					合計	平均値
	1 全く満足 していない	2 あまり満足 していない	3 どちらとも いえない	4 やや満足 している	5 大変満足 している		
児教	7 (2.4)	35 (12.1)	132 (45.7)	106 (36.7)	▼9 (3.1)	289 (100)	3.26
総文	1 (2.4)	7 (17.1)	14 (34.1)	13 (31.7)	△6 (14.6)	41 (100)	3.39
心理	2 (3.2)	7 (11.1)	30 (47.6)	20 (31.7)	4 (6.3)	63 (100)	3.27
福祉	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (41.7)	2 (16.7)	△5 (41.7)	12 (100)	4.00
Jrス	2 (2.6)	9 (11.8)	31 (40.8)	33 (43.4)	1 (1.3)	76 (100)	3.29
全体	12 (2.5)	58 (12.1)	212 (44.1)	174 (36.2)	25 (5.2)	481 (100)	3.30

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

#### 3.2.2. 授業理解度

オンライン授業の理解度は、1年生（表4）、2・3年生（表5）ともに中点の「3おおむね理解できた」が最も多かった。理解できない（1や2）と答えた人は全体の10%程度であった。学科別傾向としては、1年生の総文では「4よく理解できた」と答えた割合が高かった。一方で、1年生の児教、2・3年生の心理では「2あまり理解できなかった」と答えた割合が高かった。学科によっては15%程度の学生があまり理解できなかったと回答しているため、ここへのサポートが必要であるといえる。

表4 1年生の授業理解度

学科	オンライン授業の理解度					合計	平均値
	1 全く理解 できなかった	2 あまり理解 できなかった	3 おおむね 理解できた	4 よく理解できた	5 大変よく理解 できた		
児教	0 (0)	△26 (15.7)	108 (65.1)	▼22 (13.3)	10 (6.0)	166 (100)	3.10
総文	0 (0)	2 (4.8)	23 (54.8)	△16 (38.1)	1 (2.4)	42 (100)	3.38
心理	0 (0)	4 (6.6)	43 (70.5)	13 (21.3)	1 (1.6)	61 (100)	3.18
Jr ス	0 (0)	5 (9.8)	37 (72.5)	8 (15.7)	1 (2.0)	51 (100)	3.10
全体	0 (0)	37 (11.6)	211 (65.9)	59 (18.4)	13 (4.1)	320 (100)	3.15

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

表5 2・3年生の授業理解度

学科	授 業 理 解					合計	平均値
	1 全く理解 できなかった	2 あまり理解 できなかった	3 おおむね 理解できた	4 よく理解できた	5 大変よく理解 できた		
児教	1 (0.3)	24 (8.3)	163 (56.4)	93 (32.2)	8 (2.8)	289 (100)	3.29
総文	1 (2.4)	3 (7.3)	18 (43.9)	15 (36.6)	△4 (9.8)	41 (100)	3.44
心理	0 (0.0)	△10 (15.9)	37 (58.7)	14 (22.2)	2 (3.2)	63 (100)	3.13
福祉	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (58.3)	2 (16.7)	△3 (25)	12 (100)	3.67
Jr ス	2 (2.6)	6 (7.9)	49 (64.5)	17 (22.4)	2 (2.6)	76 (100)	3.14
全体	4 (0.8)	43 (8.9)	274 (57.0)	141 (29.3)	19 (4.0)	481 (100)	3.27

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

### 3.3. 課題の時間と量

#### 3.3.1. 受講時間

オンライン授業をいつ受けているか、については、「特に決まっていない」と回答している割合が一番多く（約32%）、本来の曜日中または授業時間に受けている割合が（約14%）となっていた。また課題の締め切り前ギリギリに受けている学生は約18%と、調査時期が春学期末であり、また後述するように課題が多めと感じている中でも、実際に課題を溜め込んでいる学生はあまり多くないといえる。

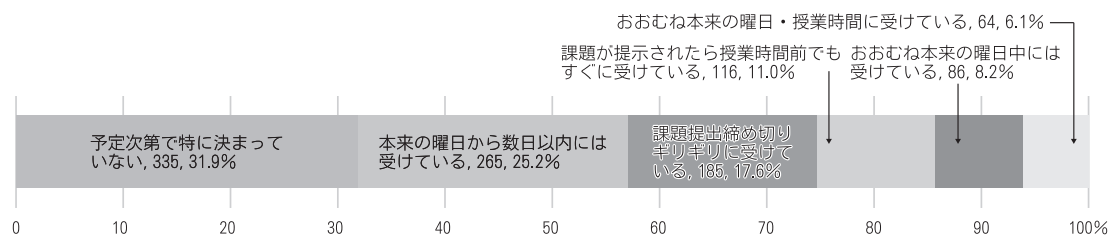


図1 オンライン授業をいつ受講するかについて

### 3.3.2. 全科目の平均学習時間

学習時間について、「1つの課題にどのくらいの時間をかけていますか」として回答を求めた。結果、1年生(表6)、2・3年生(表7)ともに「30～60分」と答える学生が最も多く、次いで「60～90分」が多かった。

表6 1年生, 学科別での1つの課題にかかる平均時間

学科	1つの課題にかかる時間(平均)							合計	平均 換算値*
	15分未満	15～30分	30～60分	60～90分	90～120分	120～180分	180分以上		
児教	0 (0)	11 (6.6)	68 (41.0)	63 (38.0)	13 (7.8)	9 (5.4)	2 (1.2)	166 (100)	67
総文	0 (0)	4 (9.5)	19 (45.2)	12 (28.6)	6 (14.3)	1 (2.4)	0 (0.0)	42 (100)	63
心理	0 (0)	5 (8.2)	24 (39.3)	25 (41.0)	5 (8.2)	2 (3.3)	0 (0.0)	61 (100)	64
Jrス	0 (0)	6 (11.8)	△29 (56.9)	▼10 (19.6)	5 (9.8)	0 (0.0)	1 (2.0)	51 (100)	57
全体	0 (0)	26 (8.1)	140 (43.8)	110 (34.4)	29 (9.1)	12 (3.8)	3 (0.9)	320 (100)	65

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

表7 2・3年生, 学科別での1つの課題にかかる平均時間

学科	1つの課題にかかる時間(平均)							合計	平均 換算値
	15分未満	15～30分	30～60分	60～90分	90～120分	120～180分	180分以上		
児教	0 (0)	▼12 (4.2)	109 (37.7)	109 (37.7)	43 (14.9)	13 (4.5)	3 (1.0)	289 (100)	70
総文	0 (0)	4 (9.8)	17 (41.5)	14 (34.1)	5 (12.2)	1 (2.4)	0 (0.0)	41 (100)	63
心理	0 (0)	3 (4.8)	23 (36.5)	26 (41.3)	5 (7.9)	5 (7.9)	1 (1.6)	63 (100)	72
福祉	0 (0)	△3 (25.0)	7 (58.3)	0 (0.0)	2 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (100)	49
Jrス	0 (0)	△13 (17.1)	32 (42.1)	23 (30.3)	8 (10.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	76 (100)	57
全体	0 (0)	35 (7.3)	188 (39.1)	172 (35.8)	63 (13.1)	19 (4.0)	4 (0.8)	481 (100)	67

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

※平均換算値…「15分未満」を「7.5分」, 「15分～30分」を「22.5分」, 「30分～60分」を「45分」, 「60分～90分」を「75分」, 「90分～120分」を「105分」, 「120分～180分」を「150分」, 「180分以上」を「180分」として、有効回答における算術平均を算出。

### 3.3.3. 一番時間のかかる課題, 一番時間のかからない課題

1年生および2・3年生ともに、一番時間がかかる課題は、平均で2時間程度となっていた。一方で一番時間のかからない課題の平均時間は30分程度となっていた。課題時間については科目ごとのばらつきが大きいといえる。

表8 1年生, 学科別での一番時間のかかる課題, 一番時間のかからない課題(単位は分)

	児教	総文	心理	Jrス	全体
一番時間のかかる課題	117.86	122.53	119.75	106.47	119
一番時間のかからない課題	23.57	24.94	29.14	20.44	25

表9 2・3年生の学科別での、一番時間のかかる課題, 一番時間のかからない課題(単位は分)

	児教	総文	心理	福祉	Jrス	全体
一番時間のかかる課題	126	114	118	98	100	119
一番時間のかからない課題	27	26	33	27	22	27

## 3.3.4. オンライン授業で課されている課題の負担感

課題の量に対する負担感について、1年生（表10）では約55%が「1 やや多い」、2・3年生（表11）では約60%が「1 やや多い」と答えていた。また、「2 多すぎる」と答えている学生は1年生で10%程度、2・3年生で20%程度であった。課題の負担感が高めであるといえる。また学科別では、Jr スの1年生、児教の2・3年生が負担を感じている傾向にあった。

表10 1年生, 学科別での課題の量に対する負担感

学科	オンライン学習で課されている課題の負担感					合計	平均
	2 多すぎる	1 やや多い	0 ちょうどよい	-1 やや物足りない	-2 全く物足りない		
児教	17 (10.2)	90 (54.2)	54 (32.5)	5 (3.0)	0 (0)	166 (100)	0.83
総文	7 (16.7)	22 (52.4)	12 (28.6)	1 (2.4)	0 (0)	42 (100)	0.72
心理	7 (11.5)	30 (49.2)	24 (39.3)	0 (0.0)	0 (0)	61 (100)	0.72
Jr ス	5 (9.8)	△35 (68.6)	10 (19.6)	1 (2.0)	0 (0)	51 (100)	0.86
全体	36 (11.3)	177 (55.3)	100 (31.3)	7 (2.2)	0 (0)	320 (100)	0.76

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

表11 2・3年生, 学科別での課題の量に対する負担感

学科	オンライン学習で課されている課題の負担感					合計	平均
	2 多すぎる	1 やや多い	0 ちょうどよい	-1 やや物足りない	-2 全く物足りない		
児教	67 (23.2)	△186 (64.4)	▼34 (11.8)	1 (0.3)	1 (0.3)	289 (100)	1.10
総文	8 (19.5)	20 (48.8)	12 (29.3)	1 (2.4)	0 (0.0)	41 (100)	0.85
心理	▼5 (7.9)	34 (54.0)	△24 (38.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	63 (100)	0.70
福祉	2 (16.7)	7 (58.3)	3 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (100)	0.92
Jr ス	19 (25.0)	▼36 (47.4)	19 (25.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	76 (100)	0.93
全体	101 (21.0)	283 (58.8)	92 (19.1)	3 (0.6)	2 (0.4)	481 (100)	0.96

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

## 3.4. 教員や友人への相談状況

## 3.4.1. 質問状況

1年生（表12）、2・3年生（表13）を通じて、質問をする時に、Teamsのチャット機能を使う学生が約60%と最も多かった。学科別の傾向としては、総文では質疑応答のチャンネルを使う学生が多くみられた。また心理の2・3年生については、「分からないことはあったが質問しなかった」が約20%と多かった。質問しにくい（もしくは、質問しない）雰囲気がうかがえる。児教の2・3年生ではチャットでの質問が多く、また「特に質問したいことはなかった」と答える学生も少ないため、質問しやすい雰囲気がうかがえる。

表12 1年生での教員への質問状況（複数回答可）

項目	児教	総文	心理	Jr	全体
Teamsのチャンネル（質疑応答チャンネルなど）で質問した	24 (14.5)	△14 (33.3)	7 (11.5)	7 (13.7)	52 (16.3)
Teamsのチャットで質問した	▼89 (53.6)	22 (52.4)	△46 (75.4)	△40 (78.4)	197 (61.6)
メールやLINEなどで質問した	30 (18.1)	10 (23.8)	6 (9.8)	7 (13.7)	53 (16.6)
分からないことはあったが質問しなかった	19 (11.4)	4 (9.5)	6 (9.8)	4 (7.8)	33 (10.3)
特に質問したいことはなかった	△38 (22.9)	8 (19.0)	7 (11.5)	▼4 (7.8)	57 (17.8)
回答者数	166 (100.0)	42 (100.0)	61 (100.0)	51 (100.0)	320 (100.0)

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

表13 2・3年生での教員への質問状況（複数回答可）

項目	児教	総文	心理	福祉	Jrス	全体
Teamsのチャンネル（質疑応答チャンネルなど）で質問した	21 (7.3)	△7 (17.1)	5 (7.9)	△3 (25.0)	6 (7.9)	42 (8.7)
Teamsのチャットで質問した	△202 (69.9)	26 (63.4)	▼22 (34.9)	7 (58.3)	41 (53.9)	298 (62.0)
メールやLINEなどで質問した	35 (12.1)	6 (14.6)	13 (20.6)	2 (16.7)	8 (10.5)	64 (13.3)
分からないことはあったが質問しなかった	28 (9.7)	4 (9.8)	△12 (19.0)	1 (8.3)	8 (10.5)	53 (11.0)
特に質問したいことはなかった	▼45 (15.6)	8 (19.5)	17 (27.0)	4 (33.3)	20 (26.3)	94 (19.5)
回答者数	289 (100.0)	41 (100.0)	63 (100.0)	12 (100.0)	76 (100.0)	481 (100.0)

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

### 3.4.2. 友人と相談状況

課題の学習をすすめるに当たり、友人と相談や情報交換をしたかについては、1年生（表14）、2・3年生（表15）ともに相談や情報交換を行ったと答えた学生が多かった。特に2・3年生では「良く行った」学生が約65%と多くなっている。また、この項目は学科別で傾向が異なり、1年生では児教やJrスの学生が、また2・3年生では児教の学生が、友達と相談しながら課題に取り組んだと答える割合が高かった。一方で総文と心理の1年生や心理の2・3年生は、友達と相談しながら課題に取り組む学生は全体と比べて少ない傾向にあった。

表14 1年生での友達との相談状況

学科	課題の学習を進めるにあたって、友達と相談したり、情報交換をしたりしましたか			回答者数
	ほとんど行わなかった	少し行った	良く行った	
児教	▼18 (10.8)	△74 (44.6)	74 (44.6)	166 (100)
総文	△15 (35.7)	15 (35.7)	12 (28.6)	42 (100)
心理	△25 (41.0)	18 (29.5)	▼18 (29.5)	61 (100)
Jrス	5 (9.8)	17 (33.3)	△29 (56.9)	51 (100)
全体	63 (19.7)	124 (38.8)	133 (41.6)	320 (100)

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す △▼は残差分析での全体との比較)

表15 2・3年生での友達との相談状況

学科	課題の学習を進めるにあたって、友達と相談したり、情報交換をしたりしましたか			回答者数
	ほとんど行わなかった	少し行った	良く行った	
児教	▼ 9 ( 3.1)	70 (24.2)	△ 210 (72.7)	289 (100)
総文	6 (14.6)	△ 19 (46.3)	▼ 16 (39.0)	41 (100)
心理	△ 15 (23.8)	21 (33.3)	▼ 27 (42.9)	63 (100)
福祉	0 ( 0.0)	2 (16.7)	10 (83.3)	12 (100)
Jr ス	6 ( 7.9)	17 (22.4)	53 (69.7)	76 (100)
合計	36 ( 7.5)	129 (26.8)	316 (65.7)	481 (100)

(数字は人数，( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

### 3.5. オンライン授業のメリット・デメリット

#### 3.5.1. 学科別でのオンライン授業で困ったこと

オンライン授業で困ったこととして、まず「勉強のペースがつかみにくい」があげられる。これは1年生（表16）で47.8%，2・3年生（表17）で41.2%となっていた。オンライン授業では勉強のペースをつかむことが難しく、この点の改善が必要である。また、1年生の特徴として、「パソコン操作に慣れていない」という回答が多く（51.3%），パソコン操作の習熟度が低いことが弊害となっていることがわかる。「友人と一緒に学べず、孤立感を感じる」についても1年生で感じている割合が2・3年生よりも10%ほど高くなっていた。

表16 1年生でのオンライン授業で困ったこと（複数回答可）

項目	児教	総文	心理	Jr ス	全体
先生に質問しにくい	58 ( 34.9)	14 ( 33.3)	25 ( 41.0)	18 ( 35.3)	115 ( 35.9)
集中力が続かない	58 ( 34.9)	13 ( 31.0)	21 ( 34.4)	15 ( 29.4)	107 ( 33.4)
パソコンの操作に慣れていない	84 ( 50.6)	20 ( 47.6)	30 ( 49.2)	30 ( 58.8)	164 ( 51.3)
ネット環境が十分ではない	▼ 26 ( 15.7)	△ 19 ( 45.2)	11 ( 18.0)	11 ( 21.6)	67 ( 20.9)
時間が足りない	△ 40 ( 24.1)	5 ( 11.9)	13 ( 21.3)	5 ( 9.8)	63 ( 19.7)
勉強のペースがつかみにくい	78 ( 47.0)	19 ( 45.2)	25 ( 41.0)	△ 31 ( 60.8)	153 ( 47.8)
友人と一緒に学べず、孤立感を感じる	56 ( 33.7)	15 ( 35.7)	12 ( 19.7)	11 ( 21.6)	94 ( 29.4)
家に落ち着いて勉強できるスペースがない	8 ( 4.8)	2 ( 4.8)	3 ( 4.9)	3 ( 5.9)	16 ( 5.0)
回答者数	166 (100.0)	42 (100.0)	61 (100.0)	51 (100.0)	320 (100.0)

(数字は人数，( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)



表17 2・3年でのオンライン授業で困ったこと（複数回答可）

項目	児教	総文	心理	福祉	Jrス	合計
先生に質問しにくい	▼74 (25.6)	11 (26.8)	△27 (42.9)	5 (41.7)	△31 (40.8)	148 (30.8)
集中力が続かない	116 (40.1)	11 (26.8)	24 (38.1)	4 (33.3)	24 (31.6)	179 (37.2)
パソコンの操作に慣れていない	△93 (32.2)	▼4 (9.8)	14 (22.2)	△8 (66.7)	19 (25.0)	138 (28.7)
ネット環境が十分ではない	40 (13.8)	3 (7.3)	11 (17.5)	2 (16.7)	9 (11.8)	65 (13.5)
時間が足りない	△126 (43.6)	▼9 (22.0)	17 (27.0)	2 (16.7)	20 (26.3)	174 (36.2)
勉強のペースがつかみにくい	123 (42.6)	19 (46.3)	27 (42.9)	2 (16.7)	27 (35.5)	198 (41.2)
友人と一緒に学べず、孤立感を感じる	55 (19.0)	6 (14.6)	15 (23.8)	3 (25.0)	14 (18.4)	93 (19.3)
家に落ち着いて勉強できるスペースがない	14 (4.8)	3 (7.3)	△9 (14.3)	2 (16.7)	4 (5.3)	32 (6.7)
回答者数	289 (100.0)	41 (100.0)	63 (100.0)	12 (100.0)	76 (100.0)	481 (100.0)

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

### 3.5.2. 学科別でのオンライン授業でよかったこと

オンライン授業の良かった点について、1年生、2・3年生ともに、「通学にかかる時間が不要」、「自分のペースで学習できる」、「自宅で学習できる」と答えた学生が多かった。オンライン授業の困ったこととして「勉強のペースがつかみにくい」ことを挙げる学生が多かったことをふまえると、いかに自分なりの学習ペースを構築することができるかが、オンライン授業の効果を考えるうえで重要なポイントであるといえる。また「通学にかかる時間が不要」がオンライン授業で良かった点としてあげられており、本学の立地的な弱点によるものともいえ、コロナ禍以降も同期・非同期を含めてオンラインの授業を組み合わせることによって、弱点をカバーすることになると考えられる。一方で、「先生に質問がしやすい」、「教材がわかりやすい」をメリットとしてあげる学生はほとんどいなかった。オンライン授業を進めていくうえで学生との双方向性をどう確保するか、わかりやすい教材をどのように作成していくかが課題であるといえる。

表18 1年生でのオンライン授業で良かったこと（複数回答可）

項目	児教	総文	心理	Jrス	全体
自分のペースで学習できる	119 (71.7)	26 (61.9)	△49 (80.3)	▼27 (52.9)	99 (69.1)
自宅で学習できる	107 (64.5)	△33 (78.6)	35 (57.4)	26 (51.0)	119 (62.8)
教室より集中できる	10 (6.0)	△7 (16.7)	6 (9.8)	3 (5.9)	294 (8.1)
教材が分かりやすい	3 (1.8)	1 (2.4)	2 (3.3)	0 (0.0)	314 (1.9)
復習が何度もできる	▼27 (16.3)	△17 (40.5)	△22 (36.1)	14 (27.5)	240 (25.0)
先生に質問がしやすい	8 (4.8)	4 (9.5)	4 (6.6)	3 (5.9)	301 (5.9)
ICT機器を使うスキルが高まる	63 (38.0)	21 (50.0)	17 (27.9)	21 (41.2)	198 (38.1)
通学にかかる時間が不要である	113 (68.1)	△36 (85.7)	43 (70.5)	30 (58.8)	98 (69.4)
回答者数	166 (100.0)	42 (100.0)	61 (100.0)	51 (100.0)	320 (100.0)

(数字は人数, ( ) 内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

表19 2・3年でのオンライン授業で良かったこと（複数回答可）

項目	児教	総文	心理	福祉	Jrス	合計
自分のペースで学習できる	198 (68.5)	24 (58.5)	38 (60.3)	10 (83.3)	48 (63.2)	318 (66.1)
自宅で学習できる	▼150 (51.9)	26 (63.4)	39 (61.9)	7 (58.3)	48 (63.2)	270 (56.1)
教室より集中できる	▼23 (8.0)	△10 (24.4)	3 (4.8)	2 (16.7)	△18 (23.7)	56 (11.6)
教材が分かりやすい	5 (1.7)	△5 (12.2)	1 (1.6)	1 (8.3)	0 (0.0)	12 (2.5)
復習が何度もできる	42 (14.5)	11 (26.8)	13 (20.6)	1 (8.3)	15 (19.7)	82 (17.0)
先生に質問がしやすい	28 (9.7)	△8 (19.5)	3 (4.8)	2 (16.7)	5 (6.6)	46 (9.6)
ICT 機器を使うスキルが高まる	△105 (36.3)	14 (34.1)	▼6 (9.5)	5 (41.7)	21 (27.6)	151 (31.4)
通学にかかる時間が不要である	196 (67.8)	33 (80.5)	42 (66.7)	10 (83.3)	48 (63.2)	329 (68.4)
回答者数	289 (100.0)	41 (100.0)	63 (100.0)	12 (100.0)	76 (100.0)	481 (100.0)

(数字は人数、( )内の数字は%を表す。△▼は残差分析での全体との比較)

### 3.6. オンライン授業の満足度と関連する要因

#### 3.6.1. オンライン授業の満足度と理解度の相関係数

オンライン授業の満足度とオンライン授業理解度との相関を分析した（表20，表21）。ほとんどの学科で、授業の満足度と理解度は高い正の相関がみられた。オンライン授業の満足度を考えるうえで、学習内容の理解のしやすさが重要であるといえる。

表20 1年生，学科別でのオンライン授業の満足度と授業の理解度の相関

児教  $r=.531$ ，総文  $r=.637$ ，心理  $r=.593$ ，Jrス  $r=.187$

表21 2・3年生，学科別でのオンライン授業の満足度と授業の理解度の相関

児教  $r=.487$ ，総文  $r=.705$ ，心理  $r=.523$ ，福祉  $r=.752$ ，Jrス  $r=.541$

#### 3.6.2. オンライン授業の満足度とオンライン授業で課されている課題の量の関係

次に、オンライン授業で課される課題の負担感（多すぎる、やや多い、ちょうどよい）と授業満足度の関係性を分析した（表22，表23）。やや物足りない、物足りないと答えている学生は、少数なので分析から除外し、多すぎる、やや多い、ちょうどよいと答えた学生の満足度を比較した。全体的に、「ちょうどよい」と答えた場合、満足度が高く、「多すぎる」と答えた場合は満足度が低くなっていた。この傾向は、児教の1年生、2・3年生、またJrスの2・3年生で明確にみられた。

表22 1年生での授業の満足度と課題の負担感

学科	課題の負担感			F 値
	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	
児教	2.88 (0.22)	3.17 (0.78)	3.65 (0.76)	$F(2,158)=8.90, p<.001, \text{偏}\eta^2=.101$ ちょうどよい>多すぎる
総文	3.43 (0.79)	3.41 (0.91)	3.42 (0.67)	$F(2,38)=0.00, n.s. \text{偏}\eta^2=.000$
心理	3.43 (0.53)	3.53 (0.68)	3.75 (0.68)	$F(2,58)=0.99, n.s. \text{偏}\eta^2=.033$
Jr ス	3.00 (0.71)	3.31 (0.53)	3.70 (0.67)	$F(2,47)=2.82, n.s. \text{偏}\eta^2=.107$

数値は授業満足度の平均値、( )内の数値は標準偏差を表す

表23 2・3年生での授業の満足度と課題の負担感

学科	課題の負担感			F 値
	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	
児教	2.93 (0.96)	3.33 (0.05)	3.56 (0.82)	$F(2,284)=9.50, p<.001. \text{偏}\eta^2=.063$ ちょうどよい, やや多い>多すぎる
総文	3.00 (1.07)	3.45 (0.94)	3.67 (1.07)	$F(2,37)=1.06, n.s. \text{偏}\eta^2=.054$
心理	3.40 (1.14)	3.38 (0.85)	3.08 (0.83)	$F(2,60)=0.90, n.s. \text{偏}\eta^2=.029$
福祉	5.00 (0.00)	3.71 (0.95)	4.00 (1.00)	$F(2,9)=1.56, n.s. \text{偏}\eta^2=.257$
Jr ス	2.84 (1.01)	3.33 (0.59)	3.79 (0.54)	$F(2,71)=8.49, p<.001. \text{偏}\eta^2=.193$ ちょうどよい>やや多い>多すぎる

数値は授業満足度の平均値、( )内の数値は標準偏差を表す

## 3.6.3. オンライン授業の満足度と質問の有無

質問をしたことがある学生（チャット、Line など）と、質問をしたことがない学生（分からないことがあったが質問しなかった、特に質問したいことはなかった）のオンライン授業の満足度を比較した（表24、表25）。結果としては、総文の2・3年生でのみ質問したことがある学生のほうが質問したことがない学生よりも授業満足度が高かった。それ以外の学年、学科では関連性がみられなかった。このことから、教員への質問をしたことがあるかどうかと、満足度との関係性はそれほど強くはないといえる。

表24 1年生での授業満足度と質問の有無

学科	質問の有無		t 値
	質問したことがある	質問したことがない	
児教	3.28 (0.84)	3.27 (0.82)	$t(164)=0.102, n.s. d=-.017$
総文	3.43 (0.86)	3.17 (0.94)	$t(40)=0.886, n.s. d=.297$
心理	3.58 (0.61)	3.69 (0.85)	$t(59)=-0.521, n.s. d=-.161$
Jr ス	3.33 (0.64)	3.38 (0.52)	$t(49)=-0.204, n.s. d=-.077$

数値は授業満足度の平均値、( )内の数値は標準偏差を表す

表25 2・3年生での授業満足度と質問の有無

学科	質問の有無		t 値
	質問したことがある	質問したことがない	
児教	3.31 (0.82)	3.11 (0.74)	$t(287)=1.82, n.s. d=.247$
総文	3.60 (1.00)	2.82 (0.87)	$t(39)=2.82, p<.05. d=.789$
心理	3.32 (0.88)	3.21 (0.86)	$t(61)=0.530, n.s. d=.132$
福祉	4.14 (1.07)	3.80 (0.84)	$t(10)=0.596, n.s. d=.322$
Jr ス	3.23 (0.88)	3.39 (0.63)	$t(74)=-0.862, n.s. d=-.203$

数値は授業満足度の平均値、( )内の数値は標準偏差を表す

## 3.6.4. オンライン授業の満足度と友達との相談の関係

課題の学習を進めるにあたって、友達と相談したり、情報交換をしたかどうか（ほとんど行わなかった、少し行った、良く行った）と授業満足度の関係を分析した（表26、表27）。結果、1年生の総文では、友達との相談をよく行った場合、授業満足度を高くなっていった。それ以外の学年、学科では関連性はみられなかった。このことから、授業満足度と友達との相談の関係は、それほど強くはないといえる。

表26 1年生での授業の満足度と友達との相談の関係

学科	友達との相談			F 値
	ほとんど行わなかった	少し行った	良く行った	
児教	3.44 (0.92)	3.20 (0.86)	3.31 (0.78)	$F(2,163)=0.724, n.s. 偏\eta^2=.009$
総文	2.87 (0.99)	3.53 (0.52)	3.75 (0.87)	$F(2,39)=4.49, p<.05. 偏\eta^2=.187$ 良く行った>ほとんど行わなかった
心理	3.52 (0.71)	3.67 (0.69)	3.67 (0.59)	$F(2,58)=0.351, n.s. 偏\eta^2=.012$
Jr ス	3.20 (1.10)	3.53 (0.51)	3.24 (0.58)	$F(2,47)=1.29, n.s. 偏\eta^2=.051$

数値は授業満足度の平均値、( )内の数値は標準偏差を表す

表27 2・3年生での授業の満足度と友達との相談の関係

学科	友達との相談			F 値
	ほとんど行わなかった	少し行った	良く行った	
児教	3.00 (0.71)	3.17 (0.70)	3.30 (0.84)	$F(2,286)=1.16, n.s. 偏\eta^2=.008$
総文	2.67 (1.21)	3.42 (0.96)	3.63 (0.96)	$F(2,38)=2.04, n.s. 偏\eta^2=.097$
心理	3.33 (0.72)	3.24 (0.83)	3.26 (0.98)	$F(2,60)=0.05, n.s. 偏\eta^2=.002$
福祉	-	4.00 (1.41)	4.00 (0.94)	-
Jr ス	3.33 (1.37)	3.35 (0.70)	3.26 (0.76)	$F(2,73)=0.09, n.s. 偏\eta^2=.002$

数値は授業満足度の平均値、( )内の数値は標準偏差を表す

## 3.7. オンライン授業の満足度とオンライン授業で良かったこととの関係

オンライン授業の満足度とオンライン授業で良かったこととの関係について、学年、学科別での結果を示す(表28, 表29)。なお、比較する人数が10人未満の項目については検定を行っていない。

主なものとしては、1年生、2・3年生ともに「自分のペースで学習できる」に「はい」と答えた場合、授業満足度が高くなっていった。また、2・3年生ではこれに加えて「復習が何度もできる」ことが満足度を高める要因となっていた。

表28 1年生でのオンライン授業で良かったことと授業満足度の関係

項 目		はい		いいえ		t 値	p	効果量
		人数	平均 (標準偏差)	人数	平均 (標準偏差)			
自分のペースで学習できる	児教	119	3.39 (0.73)	47	2.98 (0.99)	-2.99	0.00	-0.51
	総文	26	3.58 (0.81)	16	3.00 (0.89)	-2.16	0.04	-0.67
	心理	49	3.69 (0.58)	12	3.25 (0.87)	-2.13	0.04	-0.68
	Jr ス	27	3.41 (0.57)	24	3.25 (0.68)	-0.90	0.37	-0.25
自宅で学習できる	児教	107	3.40 (0.81)	59	3.05 (0.82)	-2.66	0.01	-0.43
	総文	33	3.36 (0.93)	9	3.33 (0.71)	-	-	-
	心理	35	3.60 (0.65)	26	3.62 (0.70)	0.09	0.93	0.02
	Jr ス	26	3.50 (0.65)	25	3.16 (0.55)	-2.01	0.05	-0.56
教室より集中できる	児教	10	3.90 (0.74)	156	3.24 (0.82)	-2.94	0.00	-0.81
	総文	7	3.86 (0.90)	35	3.26 (0.85)	-	-	-
	心理	6	4.00 (0.00)	55	3.56 (0.69)	-	-	-
	Jr ス	3	4.00 (1.00)	48	3.29 (0.58)	-	-	-
復習が何度もできる	児教	27	3.48 (0.85)	139	3.24 (0.82)	-1.41	0.16	-0.29
	総文	17	3.53 (0.62)	25	3.24 (1.01)	-1.05	0.30	-0.32
	心理	22	3.68 (0.72)	39	3.56 (0.64)	-0.66	0.51	-0.17
	Jr ス	14	3.36 (0.63)	37	3.32 (0.63)	-0.17	0.87	-0.05
先生に質問がしやすい	児教	8	3.63 (0.52)	158	3.26 (0.84)	-	-	-
	総文	4	3.75 (0.96)	38	3.32 (0.87)	-	-	-
	心理	4	4.00 (0.00)	57	3.58 (0.68)	-	-	-
	Jr ス	3	3.33 (0.58)	48	3.33 (0.63)	-	-	-
ICT 機器を使うスキルが高まる	児教	63	3.3 (0.85)	103	3.26 (0.82)	-0.30	0.77	-0.05
	総文	21	3.67 (0.80)	21	3.05 (0.86)	-2.41	0.02	-0.73
	心理	17	3.76 (0.66)	44	3.55 (0.66)	-1.16	0.25	-0.33
	Jr ス	21	3.38 (0.59)	30	3.30 (0.65)	-0.45	0.65	-0.13
通学にかかる時間が不要である	児教	113	3.22 (0.86)	53	3.4 (0.74)	1.27	0.21	0.21
	総文	36	3.31 (0.92)	6	3.67 (0.52)	-	-	-
	心理	43	3.65 (0.57)	18	3.5 (0.86)	-0.81	0.42	-0.22
	Jr ス	30	3.33 (0.66)	21	3.33 (0.58)	0.00	1.00	0.00
教材が分かりやすい	児教	3	4.33 (0.58)	163	3.26 (0.82)	-	-	-
	総文	1	4.00 (-)	41	3.34 (0.88)	-	-	-
	心理	2	4.00 (0.00)	59	3.59 (0.67)	-	-	-
	Jr ス	0	-	51	3.33 (0.62)	-	-	-

表29 2・3年生，学科別でのオンライン授業の良かったところと授業満足度の関係

項 目		はい		いいえ		t 値	p	効果量
		人数	平均 (標準偏差)	人数	平均 (標準偏差)			
自分のペースで学習できる	児教	198	3.40 (0.77)	91	2.95 (0.78)	-4.68	0.00	-0.59
	総文	24	3.71 (0.91)	17	2.94 (1.03)	-2.52	0.02	-0.78
	心理	38	3.39 (0.79)	25	3.08 (0.95)	-1.42	0.16	-0.36
	福祉	10	4.20 (0.92)	2	3.00 (0.00)	-	-	-
	Jr ス	48	3.46 (0.77)	28	3.00 (0.77)	-2.50	0.01	-0.59
自宅で学習できる	児教	150	3.45 (0.69)	139	3.06 (0.87)	-4.24	0.00	-0.50
	総文	26	3.62 (0.98)	15	3.00 (1.00)	-1.92	0.06	-0.61
	心理	39	3.44 (0.85)	24	3.00 (0.83)	-1.99	0.05	-0.51
	福祉	7	4.14 (0.90)	5	3.80 (1.10)	-	-	-
	Jr ス	48	3.38 (0.76)	28	3.14 (0.85)	-1.23	0.22	-0.29
教室より集中できる	児教	23	3.57 (0.59)	266	3.23 (0.81)	-1.91	0.06	-0.41
	総文	10	3.80 (0.79)	31	3.26 (1.06)	-1.48	0.15	-0.53
	心理	3	4.33 (1.15)	60	3.22 (0.83)	-	-	-
	福祉	2	5.00 (0.00)	10	3.80 (0.92)	-	-	-
	Jr ス	18	3.72 (0.67)	58	3.16 (0.79)	-2.75	0.01	-0.73
復習が何度もできる	児教	42	3.52 (0.67)	247	3.21 (0.82)	-2.33	0.02	-0.39
	総文	11	4.00 (0.78)	30	3.17 (1.02)	2.46	0.02	-0.85
	心理	13	3.69 (0.95)	50	3.16 (0.82)	-2.02	0.05	-0.62
	福祉	1	5.00 ( - )	11	3.91 (0.94)	-	-	-
	Jr ス	15	3.60 (0.74)	61	3.21 (0.80)	-1.71	0.09	-0.49
先生に質問がしやすい	児教	28	3.29 (0.90)	261	3.26 (0.79)	-0.18	0.86	-0.04
	総文	8	3.38 (0.92)	33	3.39 (1.06)	-	-	-
	心理	3	4.67 (0.58)	60	3.20 (0.82)	-	-	-
	福祉	2	4.00 (1.41)	10	4.00 (0.94)	-	-	-
	Jr ス	5	3.80 (0.45)	71	3.25 (0.81)	-	-	-
ICT 機器を使うスキルが高まる	児教	105	3.41 (0.77)	184	3.17 (0.81)	-2.42	0.02	-0.30
	総文	14	3.57 (1.02)	27	3.30 (1.03)	-0.81	0.42	-0.26
	心理	6	3.67 (0.82)	57	3.23 (0.87)	-	-	-
	福祉	5	3.60 (0.89)	7	4.29 (0.95)	-	-	-
	Jr ス	21	3.62 (0.67)	55	3.16 (0.81)	-2.29	0.02	-0.58
通学にかかる時間が不要である	児教	196	3.29 (0.82)	93	3.20 (0.76)	-0.81	0.42	-0.10
	総文	33	3.42 (1.00)	8	3.25 (1.16)	-	-	-
	心理	42	3.26 (0.77)	21	3.29 (1.06)	0.10	0.92	0.03
	福祉	10	4.00 (0.94)	2	4.00 (1.41)	-	-	-
	Jr ス	48	3.42 (0.82)	28	3.07 (0.72)	-1.85	0.07	-0.44
教材が分かりやすい	児教	5	3.80 (0.45)	284	3.25 (0.00)	-	-	-
	総文	5	4.20 (1.30)	36	3.28 (0.94)	-	-	-
	心理	1	3.00 ( - )	62	3.27 (0.87)	-	-	-
	福祉	1	5.00 ( - )	11	3.91 (0.94)	-	-	-
	Jr ス	0	-	76	3.29 (0.80)	-	-	-

## 3.8. オンライン授業の満足度とオンライン授業で困ったこととの関係

次にオンライン授業の満足度とオンライン授業で困ったこととの関係について、学年、学科別での結果を示す（表30、表31）。なお、比較する人数が10人未満の項目については検定を行っていない。

オンライン授業の満足度を下げている要因として、学科による違いがみられた。1年生では、児教では「先生に質問しにくい」、「ネット環境が十分ではない」、「勉強のペースがつかみにくい」であった。総文では「パソコンの操作に慣れていない」、「友人と一緒に学べず、孤立感を感じる」であった。心理では「勉強のペースがつかみにくい」であった。Jr スでは今回取り上げた要因の中では満足度を下げる要因はみられなかった。

表28 1年生でのオンライン授業で困ったことと授業満足度の関係

項 目		はい		いいえ		t 値	p	効果量
		人数	平均 (標準偏差)	人数	平均 (標準偏差)			
先生に質問しにくい	児教	58	3.09 (0.80)	108	3.38 (0.83)	2.20	0.03	0.36
	総文	14	3.07 (1.07)	28	3.50 (0.75)	1.51	0.14	0.49
	心理	25	3.48 (0.71)	36	3.69 (0.62)	1.24	0.22	0.32
	Jr ス	18	3.39 (0.61)	33	3.30 (0.64)	-0.47	0.64	-0.14
集中力が続かない	児教	58	3.14 (0.80)	108	3.35 (0.84)	1.59	0.11	0.26
	総文	13	3.31 (1.03)	29	3.38 (0.82)	0.24	0.81	0.08
	心理	21	3.57 (0.68)	40	3.63 (0.67)	0.30	0.77	0.08
	Jr ス	15	3.33 (0.62)	36	3.33 (0.63)	0.00	0.00	0.00
パソコンの操作に慣れていない	児教	84	3.19 (0.86)	82	3.37 (0.79)	1.37	0.17	0.21
	総文	20	3.00 (1.03)	22	3.68 (0.57)	2.70	0.01	0.82
	心理	30	3.53 (0.68)	31	3.68 (0.65)	0.84	0.40	0.21
	Jr ス	30	3.23 (0.50)	21	3.48 (0.75)	1.39	0.17	0.39
ネット環境が十分ではない	児教	26	2.96 (0.77)	140	3.34 (0.83)	2.14	0.03	0.45
	総文	19	3.11 (1.10)	23	3.57 (0.59)	1.73	0.09	0.53
	心理	11	3.64 (0.50)	50	3.60 (0.70)	-0.16	0.87	-0.05
	Jr ス	11	3.27 (0.65)	40	3.35 (0.62)	0.36	0.72	0.12
時間が足りない	児教	40	3.13 (0.79)	126	3.33 (0.84)	1.34	0.18	0.24
	総文	5	3.20 (0.45)	37	3.38 (0.92)	-	-	-
	心理	13	3.46 (0.52)	48	3.65 (0.70)	0.88	0.38	0.27
	Jr ス	5	3.40 (0.55)	46	3.33 (0.63)	-	-	-
勉強のペースがつかみにくい	児教	78	3.09 (0.81)	88	3.44 (0.81)	2.80	0.01	0.43
	総文	19	3.26 (1.10)	23	3.43 (0.66)	0.63	0.54	0.19
	心理	25	3.36 (0.70)	36	3.78 (0.59)	2.52	0.01	0.65
	Jr ス	31	3.35 (0.66)	20	3.30 (0.57)	-0.31	0.76	-0.09
友人と一緒に学べず、孤立感を感じる	児教	56	3.21 (0.78)	110	3.31 (0.85)	0.70	0.49	0.11
	総文	15	2.80 (0.94)	27	3.67 (0.68)	3.45	0.00	1.09
	心理	12	3.67 (0.78)	49	3.59 (0.64)	-0.35	0.73	-0.11
	Jr ス	11	3.27 (0.47)	40	3.35 (0.66)	0.36	0.72	0.12
家に落ち着いて勉強できるスペースがない	児教	8	2.88 (0.83)	158	3.30 (0.83)	-	-	-
	総文	2	2.00 (1.41)	40	3.43 (0.81)	-	-	-
	心理	3	3.33 (1.15)	58	3.62 (0.64)	-	-	-
	Jr ス	3	3.33 (0.58)	48	3.33 (0.63)	-	-	-

表31 2・3年生でのオンライン授業で困ったことと授業満足度の関係

項 目		はい		いいえ		t 値	p	効果量
		人数	平均 (標準偏差)	人数	平均 (標準偏差)			
先生に質問しにくい	児教	74	3.15 (0.82)	215	3.30 (0.79)	1.38	0.17	0.19
	総文	11	3.09 (0.94)	30	3.50 (1.04)	1.14	0.26	0.39
	心理	27	2.85 (0.82)	36	3.58 (0.77)	3.63	0.00	0.91
	福祉	5	4.00 (1.00)	7	4.00 (1.00)	-	-	-
	Jr ス	31	3.06 (0.93)	45	3.44 (0.66)	2.09	0.04	0.48
集中力が続かない	児教	116	3.05 (0.82)	173	3.40 (0.76)	3.68	0.00	0.44
	総文	11	3.00 (1.18)	30	3.53 (0.94)	1.50	0.14	0.52
	心理	24	2.96 (0.95)	39	3.46 (0.76)	2.32	0.02	0.59
	福祉	4	3.25 (0.50)	8	4.38 (0.92)	-	-	-
	Jr ス	24	2.88 (0.68)	52	3.48 (0.78)	3.27	0.00	0.80
パソコンの操作に慣れていない	児教	93	3.13 (0.78)	196	3.32 (0.81)	1.91	0.06	0.24
	総文	4	3.00 (0.82)	37	3.43 (1.04)	0.80	0.43	0.41
	心理	14	3.07 (1.00)	49	3.33 (0.83)	0.97	0.33	0.29
	福祉	8	3.88 (0.99)	4	4.25 (0.96)	-	-	-
	Jr ス	19	3.11 (0.88)	57	3.35 (0.77)	1.17	0.25	0.31
ネット環境が十分ではない	児教	40	3.10 (0.96)	249	3.29 (0.77)	1.36	0.18	0.23
	総文	3	3.00 (1.00)	38	3.42 (1.03)	0.68	0.50	0.40
	心理	11	3.27 (1.01)	52	3.27 (0.84)	-0.01	0.99	0.00
	福祉	2	5.00 (0.00)	10	3.80 (0.92)	-	-	-
	Jr ス	9	2.78 (0.97)	67	3.36 (0.75)	2.10	0.04	0.74
時間が足りない	児教	126	3.22 (0.82)	163	3.29 (0.79)	0.69	0.49	0.08
	総文	9	3.44 (1.13)	32	3.38 (1.01)	-0.18	0.86	-0.07
	心理	17	3.18 (1.24)	46	3.30 (0.70)	0.52	0.61	0.15
	福祉	2	5.00(0.00)	10	3.80 (0.92)	-	-	-
	Jr ス	20	3.00 (0.86)	56	3.39 (0.76)	1.93	0.06	0.50
勉強のペースがつかみにくい	児教	123	3.10 (0.73)	166	3.38 (0.84)	2.99	0.00	0.36
	総文	19	3.21 (1.03)	22	3.55 (1.01)	1.05	0.30	0.32
	心理	27	3.04 (0.81)	36	3.44 (0.88)	1.89	0.06	0.47
	福祉	2	3.00 (0.00)	10	4.20 (0.92)	-	-	-
	Jr ス	27	3.15 (0.77)	49	3.37 (0.81)	1.15	0.25	0.27
友人と一緒に学べず、孤立感を感じる	児教	55	2.95 (0.73)	234	3.33 (0.80)	3.28	0.00	0.49
	総文	6	3.17 (1.17)	35	3.43 (1.01)	0.58	0.57	0.25
	心理	15	3.00 (1.07)	48	3.35 (0.79)	1.39	0.17	0.41
	福祉	3	3.67 (0.58)	9	4.11 (1.05)	-	-	-
	Jr ス	14	3.07 (0.92)	62	3.34 (0.77)	1.14	0.26	0.33
家に落ち着いて勉強できるスペースがない	児教	14	2.86 (0.95)	275	3.28 (0.79)	1.93	0.05	0.53
	総文	3	3.00 (2.00)	38	3.42 (0.95)	-	-	-
	心理	9	3.11 (1.05)	54	3.30 (0.84)	-	-	-
	福祉	2	4.50 (0.71)	10	3.90 (0.99)	-	-	-
	Jr ス	4	3.25 (0.50)	72	3.29 (0.81)	-	-	-



2・3年生では、見教は「集中力が続かない」、「勉強のペースがつかみにくい」、「友人と一緒に学べず孤立感を感じる」であった。心理では「先生に質問しにくい」、「集中力が続かない」であった。Jrスでは「先生に質問しにくい」、「集中力が続かない」であった。総文では、今回取り上げた項目の中で満足度を下げる要因はみられなかった。2・3年生では、多くの学科で「集中力が続かない」ことがオンライン授業の満足度を下げていた。

### 3.9. 授業のスタイル

2020年の春学期はオンデマンドでの非同期型のオンライン授業を展開していたわけであるが、学生がどのような形の授業形態を望んでいるのか、特に録画された動画配信を非同期で行うものと、ZOOMを用いた同期型の授業を行うもので調査を行った。

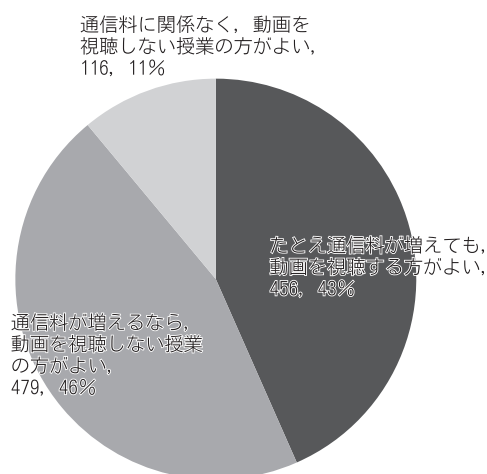


図2 非同期で動画を視聴する形の授業について

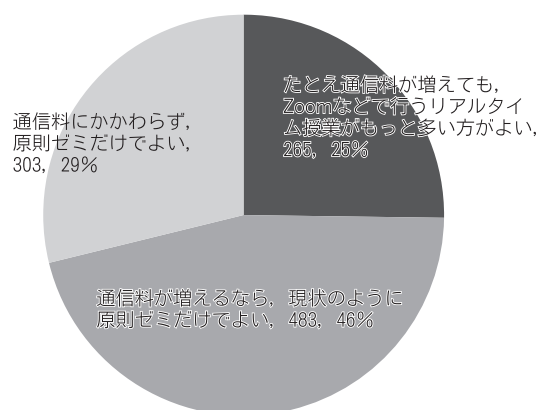


図3 Zoomなどを使ってリアルタイムで行う形の授業について

図2、3のグラフからもわかるように、学生はZOOMなどを用いたリアルタイムでの授業よりも動画を視聴する形での授業を望んでいることがわかる。これは、2020年春学期の授業では教科書やパワーポイントといった文書の形の資料を読む授業が多かったことを反映していると言える。しかしZOOMなどを用いたリアルタイムでの授業を望んでいない学生も多く、単純に教員の話を知りたいというよりも、授業を受ける形態として動画視聴に魅力を感じているものと考えられる。この点は、教員が対面の講義、またはそのリアルタイムでの中継に効果を感じているのとは、一定の乖離があるかもしれない。

ただし、どの形態の授業を行っていても、それぞれに異なる授業形態を望む学生がいることは確かであり、今後授業内容や目的に合わせてその形態を使い分けることが必要になると考えられる。

## 3.10. 自由記述から見る進めやすい授業／進めにくい授業

今回のアンケートの、学習を進めやすい授業、進めにくい授業の自由記述からまとめたものが次の表32、33である。

表32 自由記述から見る進めやすい授業の特徴

資料のわかりやすさ	分かりやすい 解説・説明がある 簡潔でまとまっている
資料の種類	動画や音声付きスライド
課題	指示が明確 穴埋め式（フォーム利用） 提示／締切が一定
フィードバック、課題返却	コメントがある 返却が早い 模範解答・正解が示される
その他	質問がしやすい 補足資料がある

表33 自由記述から見る進めにくい授業の特徴

資料のわかりやすさ	分かりにくい 専門用語が多いのに説明がない
資料の種類	文字のみ、多い、長い ファイルの場所がバラバラ
課題	指示があいまい、説明が不十分 分量が多い 提示／締切がバラバラ
フィードバック、課題返却	フィードバックが無い、コメントがない 返却が遅い／ない 減点理由や正解かどうか分からない
その他	自分で調べないといけない・調べても出てこない 教科書を読むだけ 授業方法や課題の指示が毎回違う 先生の方針が揺らいでいる

まず授業の資料に関して、わかりやすいことはもちろん、適切な量と的確な説明・解説が必要であることがわかる。またその種類についても文章だけでなく動画や音声付きスライドを学生が求めていることは前の項目からもしっかりしている。

次に課題については、その内容よりもまず課題の指示がはっきりしていることが求められている。これまでの対面授業に比べて、しっかりと明確に課題内容や作成方法などの指示を伝える必要があることがわかる。また、どの授業でも毎週課題が出されることが多いため、一定の提出方法・手段で統一されることが望まれる。こういった点で、課題や教材の指示などにとどまらず、一貫した形での授業デザインの必要性が確認された。

フィードバックや課題返却については、まずはフィードバックをすること、また返却が早いこととともに、模範解答や減点理由を示すことが求められている。学生から見た場合、点数のみではどこが悪い

のかわからず、また改善するのであればどこかと知りたいためと考えられる。

またその他として、質問がしやすいことや授業方法などが一定であることが求められており、教科書を読むだけの授業は求められていないことがわかる。

#### 4. おわりに

コロナ禍による全学的なオンライン授業への学生の取組の状況を確認するため、春学期終盤にオンライン授業に取り組んだ学生へのアンケート調査を行なった。学生だけでなく教員も不慣れな状態からの出発であり、教員側のスキル習得が少し進み、学生の自律的な学習習慣がやっと少し定着してきたかという段階での調査であったため、学習内容に踏み込む以前の問題点もいくつか出てくることにはなった。その一方で、学生の授業への理解度・満足度については、昨年度までの対面の授業に比べて大きく下がっているとは考えにくいこともわかった。

分析の結果としては、オンライン授業に対してある程度の満足度と理解度を得られていること、課題に取り組む時間は本来の授業時間を満たしているとは言えない一方で、学生にとって課題の負担がやや大きくなっていることがわかった。また授業の満足度を高める要因として、自分のペースで学習を進められることや自宅で落ち着いて学習できること、復習が何度もできることなどをあげることができた。そして授業方法として、動画教材を用いた授業の展開への期待が大きいとともに、一定のルールや方針に従った一貫した授業デザインが必要なことも分かった。

このようなことから、今後の With コロナ時代には一人一台のパソコン必携化やオンライン学習を授業に取り入れていく方向に本学を含めて高等教育全体が進むことはことに明白であり、オンラインでの学習に必要とされる教員側のスキルやシステム、また学生に自律的に学ぶ力をつけさせるための方法など、多くの解決すべき課題が見つかったともいえる。

また1年生については2、3年生とは異なり、これまでの対面授業の経験や人間関係の構築もないままにオンライン授業から始まっていることから、授業だけでなく別の面からのサポートも必要なことが明らかになったといえる。

学生はすでにオンライン学習のメリット・デメリットをしっかりと認識しつつある。そういった意味でも、With コロナ時代の大学教育として、オンライン授業を従来の授業やカリキュラムにあてはめるのではなく、オンライン授業の導入を契機として授業運営や方法またカリキュラム全体を刷新していく必要があると考えるところである。そしてこのためにも、今後も今回と同様な調査を続けていくことが必要である。

#### 5. 参考文献

- 神戸親和女子大学遠隔授業ワーキンググループ (2020) 「神戸親和女子大学オンライン授業のガイド (2～4年生)」  
<https://scll6.info/LfBQr5NE8JsNeKSVT2L6wE6yVIsckp/index.html> (2020年12月24日最終アクセス)
- 中植正剛, 間瀬泰尚, 酒井純 (2021) コロナ禍のオンライン授業で明らかになった大学生の情報機器環境. 教職課程・実習支援センター研究年報4, 神戸親和女子大学.
- 間瀬泰尚, 中植正剛, 酒井純 (2021) 新型コロナ禍で見直す大学の授業の在り方—オンライン授業に関する教員アンケート結果から—. 神戸親和女子大学国際教育研究センター紀要第6号, pp.19-28, 神戸親和女子大学
- 間瀬泰尚 (2021) 全学共通シラバスによる初年生教育の同期型遠隔授業による実施—学びの共同体を維持するため—to. 初年生教育学会第13回大会発表要旨集, pp.38-39

## 6. 注

- 1 神戸親和女子大学発達教育学部准教授
- 2 神戸親和女子大学文学部教授